

**注意**

- 時計のツマミは必ず指定の矢印の方向へ回して下さい。時計精度が狂うなどの故障の原因となります。
- 時計のツマミは強く引っ張ると外れることがあります。ご使用の際はツマミを引っ張らないようにして下さい。

## まずは時計の読み方から

アナログ時計には短針と長針があり、短い針が「時」長い針が「分」を表すという事を教えましょう。

### Step1. 最初は短針から教える

短針（紺色の針）が指している数字を読むと「時」が読めるようになります。「分」の概念は後回しにして、まずは「時」を読めるようになります。裏面の青いツマミを回して、短い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。「時計の短い針が1のところいたら1時だよ」と12時までそれぞれ教えてみましょう。1時から12時までを読めるようになったら次のステップです。



### Step2. つぎは長針を教える

長針（水色の針）が指している数字を読むと「分」が読めるようになります。外側にある小さい数字に注目して、長い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。最初は水色の数字の0と30を指す位置で「〇時ちょうど」と「〇時30分」を教えましょう。次に5、10、15…と5分きざみに水色の数字を読めるようにします。慣れてくると1から12の大きな数字に惑わされることなく、目盛りを数えて「分」を読むことが分かるようになります。



いまは何分かな？  
6ぶん！

長い針は周りの小さい数字を読むんだ。

あっ！そっか！  
いち、に、…30ぶんだ！

いまは何時何分？  
7じ30ぶん！

こんどはちょっと難しいよ  
いまは何時何分？  
7じ32ぶん！

すごいよ！よくわかったね。

### Step3. 短針・長針の順番で読む

①短針（紺色の針）②長針（水色の針）の順に読むという事を教えてみましょう。加えて、短針＝「時」長針＝「分」という事を徹底して教えてみましょう。「何時何分？」と問いかけて「〇時〇分」と繰り返し答えるうちに慣れて読めるようになります。

#### 大切なこと

お子様が「時計の読み方」をしっかり理解してから、「目覚まし時計の使い方」を教えるようにして下さい。

## 目覚まし時計の使い方

### Step1. 目覚まし時計の設定方法を理解する

裏面の赤いツマミを回すと、赤い針が動きます。文字板の赤い目盛りに合わせて目覚まし時刻を設定してみましょう。目覚まし時計の針は、長針短針に分かれていないため、混乱しやすいです。まずは1時間を6個に分割した目盛りの真ん中が目覚まし時刻の30分であることを教えましょう。次に、10・20・30と赤の目盛りが10分刻みに振られている事も理解していきましょう。

### Step2. 実際にアラームを鳴らしてみる

**注意** 目覚ましは構造上、設定した時刻に対して、5分前から5分過ぎの間にアラームが鳴り始めます。

時刻が設定出来たら、今度は実際に目覚まし時計を鳴らしてみましょう。まず裏面の赤いスイッチをなる（上）にします。次に青いツマミを回して設定時刻の約7分前を目安に時計の時刻を設定し、しばらく待ちます。  
（例：アラーム時刻を7時に設定した場合、時計の時刻を6時53分にしてみる）  
設定時刻になるとアラームが鳴り出します。

### Step3. アラームを止める

アラームは、天面の赤いボタンを押すと鳴り止まり、約4分後に再び鳴り出します（スヌーズ機能）アラームが再び鳴らないようにするには、裏面の赤いスイッチをとまる（下）にします。  
※アラームは鳴り始めから約20～40分で自動的に止まります。裏面の赤いスイッチをとまる（下）にしなかった場合は、約12時間後に再びアラームが鳴ります。

#### 大切なこと

お子様が間違えてしまっても叱ったりせず、ポジティブな言い方でやさしく教えましょう。読めたときにはたくさんほめて、お子様と楽しみながらすすめて下さい。「時計が読めると楽しい・目覚まし時計で起きると楽しい」とお子様が感じられることが一番です。ぜひ時計を身近なものにしてあげて下さい。知育目覚まし時計 おきてよ～めると一緒に楽しく学習しましょう！

### 知育時計よ～めるシリーズ特集ページ



幼児期から小学校低学年のお子様にも伝わりやすい「時計の読み方・教え方」の解説動画や、よ～めるシリーズのご紹介などのコンテンツをまとめております。携帯電話・スマートフォンからQRコードをスキャンして（または下記URLより）アクセスして頂けます。

<https://www.mag-clock.co.jp/tellingtime.html>

#### 声かけのポイント

●「3時からおやつにしよう!」「6時からテレビが始まるよ!」など、生活の中でお子様の好きな出来事から時計を見る習慣をつけてみましょう。

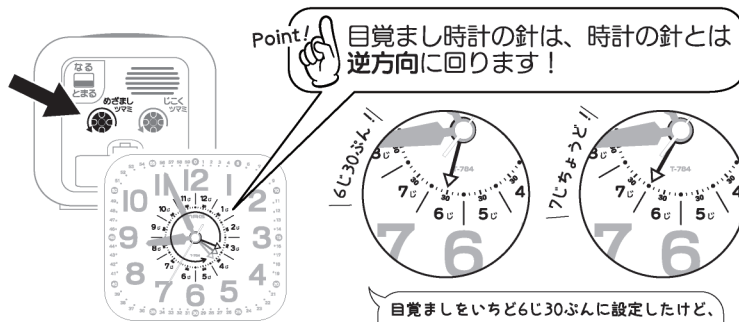
#### 声かけのポイント

●「10時半になったらおでかけよ!」「7時30分になったからお風呂にはいろう!」など、最初は「〇時30分」のときに声をかけて時計を見せてあげてください。このとき「〇時半」という言い方も同時に教えてしまいましょう。どちらも同じ意味だと知る事で、30は半分であるという意識が付き、60進法の理解への手助けになります。短針が数字と数字の間にある事も気づかせてあげましょう。

●お子様と一緒にひとつずつ丁寧に目盛りを教えてあげましょう。

#### 声かけのポイント

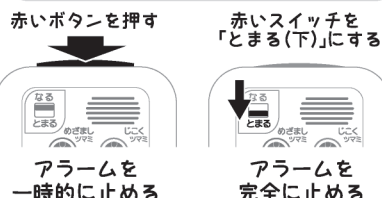
●ふとしたときに何時何分が質問してみましょう。今の時刻を答えられるようになったら「じゃあ、おやつまで何分?」などの質問もしてみましょう。はじめは目盛りをひとつずつ教えて答えられるだけでじゅうぶんです。この感覚を身につけておくことで「時間の計算」の学習への理解も早くなります。



目覚ましをいちど6じ30ぶんに設定したけど、やっぱり7じに設定しなおしたい時は、目覚まし時計の針をもう1周して設定するよ。

#### 目覚まし時計使用のポイント

●目覚まし時計のアラームを鳴らしながら教える事で、感覚的にも視覚的にも目覚まし時計の使い方を学ぶことが出来ます。目覚まし時計を設定して時間通りにおきることが出来たら、しっかりとほめてあげて下さい。自分で起きることが楽しくなるはずです。



アラームを一時的に止める

アラームを完全に止める

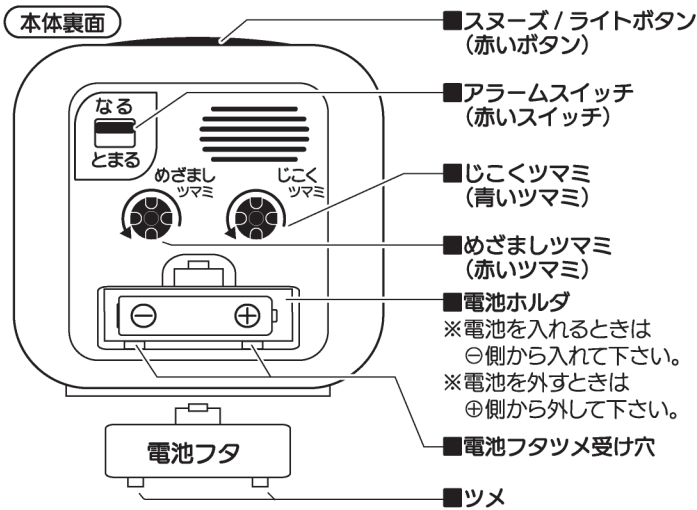
お買い上げありがとうございます。  
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいませようお願い申し上げます。  
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

**製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)**

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃ で使用した場合)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと (外觀 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 単 3 形マンガン乾電池 (R6 1.5V) 1 個
- 電池寿命: 約 10 ヶ月 (単 3 形マンガン乾電池 1 個を使用し、1 日にアラームを 30 秒、ライトを 1 回使用した場合)
- アラーム: 電子音
- アラーム精度: ±5 分 (設定した時刻に対して)
- スヌーズ機能: スヌーズ間隔約 4 分
- ライト機能: 右上に一箇所

**各部の名称**



**ご使用方法**

- ①アラームスイッチをとまる(下)にする。
- ②電池フタを開けて単3形乾電池1個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じる。  
※電池フタを閉じるときは、ツメを電池フタツメ受け穴に差し込んでから閉じて下さい。  
※アラームスイッチをなる(上)のまま電池を入れると、誤動作・故障の原因となります。

**現在時刻の合わせ方**

- 時刻を合わせる  
じこくツマミを必ず左回りにまわす。
- ツマミは必ず指定の矢印の方向へ回して下さい。時計精度が狂うなどの故障の原因となります。●ツマミは強く引っ張ると外れることがあります。ご使用の際はツマミを引っ張らないようにして下さい。



**アラーム時刻の合わせ方**

- アラーム時刻を設定する  
めざましツマミを必ず左回りにまわす。
- ツマミは必ず指定の矢印の方向へ回して下さい。時計精度が狂うなどの故障の原因となります。●ツマミは強く引っ張ると外れることがあります。ご使用の際はツマミを引っ張らないようにして下さい。

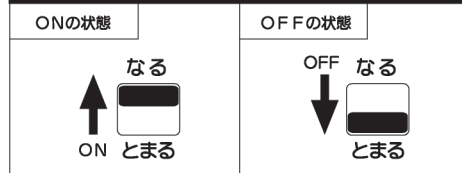


**アラーム(目覚まし)機能について**

- アラームを鳴らす  
アラーム時刻を設定した後、アラームスイッチをなる(上)にすると、設定した時刻にアラームが鳴る。  
※アラームは、鳴り始めから約 20 ~ 40 分後に自動的に止まる。その場合約 12 時間後に再びアラームが鳴る。
- アラームを止める  
アラームスイッチをとまる(下)にするとアラームが鳴り止まり、アラーム機能が停止する。

**注意** 目覚ましは構造上、設定した時刻に対して、5 分前から 5 分過ぎの間にアラームが鳴り始めます。

**アラームスイッチ**



**止めてもまた鳴るスヌーズ機能とライト機能**

- アラームが鳴っている間にスヌーズ/ライトボタンを押すとアラームが一旦鳴り止まり、約 4 分後に再び鳴り出す。約 20 ~ 40 分間はこの動作を繰り返すことができる。
- アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをとまる(下)の位置にする。
- スヌーズ/ライトボタンを押すとライトが点灯する。  
※ボタンから手を離すとライトは消灯します。

**電池の交換について**

電池容量が少なくなると、[アラームが鳴らない][スヌーズが機能しない][ライトが点かない][時計が遅れる]といった症状がおき、やがて止まります。このような場合は速やかに新しい乾電池に交換して下さい。  
※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなることがあります。  
※時計が動いていても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的に電池を交換して下さい。

**故障かな?と思ったときには...**

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

**時計が動かない**

考えられる原因	処置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

**時計が止まる、または遅れる**

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。

**アラームが鳴らない、または小さい / スヌーズが機能しない**

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電池容量が無い	

**ライトが点かない、または暗い**

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電池容量が無い	